

## 令和7年度 第2回豊山町地域包括ケアシステム推進協議会議事録

1 開催日時 令和8年2月26日（木）午後1時30分～午後2時30分

2 開催場所 豊山町保健センター 2階 研修室

### 3 委 員

(1) 出席 9名

わかばファミリークリニック

能城 充弘

小塚歯科医院

小塚 文雄

あい薬局

森 康 哲

名古屋大学

井上 愛子

西名古屋医師会

高木 智寿登

ケアプランセンタービィンズ

中西 ひとみ

ヘルパーステーションしいの木

西川 やよい

ゆたかナース

宇佐見 千春

豊山町社会福祉協議会

中野 弘 恵

### 4 事務局

(1) 出席 3名

豊山町生活福祉部長

日比野 敏弥

豊山町生活福祉部保険課長

栗山 直 樹

豊山町地域包括支援センター保健師

山 田 紗

### 5 議題

(1) 地域包括ケアシステム構築に向けた進捗状況について

### 6 議事内容（要点筆記）

#### 【会長】

それでは、これより会議を始めます。

まず、議事録署名委員の指名ですが、本日の会議の署名委員につきましては、中野委員と西川委員を指名いたしますので、よろしく願いいたします。

続きまして、次第2「議題（1）「地域包括ケアシステム構築に向けた進捗状況について」に入ります。事務局からの説明を求めます。

#### 【事務局】

議題（1）「地域包括ケアシステム構築に向けた進捗状況について」について、会議資料P1～P3まで説明した。

**【会長】**

ありがとうございます。説明事項が長いので、いったんここで区切らせていただきます。ここまでのところで、ご質問をお願いします。

**【委員】**

フレイルについてですが、アンケートの返信率が 60 パーセントはとても高いと思います。未返信の残りの 107 名の方への確認等は行われていますか。

**【事務局】**

今年度、返信のない方に確認はしていません。現状では、アンケートに返信しないと電話番号を把握できないためです。ただ、71 歳で変動がなくても 73 歳で、さらに 75 歳からは一体的実施事業に関わる機会があるので、どこかでアプローチできるようにと考えております。

**【会長】**

ありがとうございます。フレイルの未回答の方は、回答そのものがない方として捉えてよいのかなと思います。ほかにご質問とかご意見はございますか。

**【委員】**

介護支援ボランティア事業ですが、活動でポイントを貯めて交換するということで、ポイント交換者が 0 になっているのですが、これは何か理由がありますか。

**【事務局】**

例年、3 月までの活動で締めて、4 月に交換される方が多いので、2 月までですと 0 になることがあります。交換していない方には、お手紙などで期限のお知らせをしています。昨年度は、登録者のうち 16 人が交換しました。登録をして活動しなかった方もいましたので、実際に活動した方は、ほぼ交換しています。

**【委員】**

こういうポイント制度がモチベーションになっている、という感覚ですか。

**【事務局】**

それはあると思います。そのため、登録しても活動場所があまりない方もいたので、新しい登録先の開拓にも力を入れています。

**【委員】**

上限の見直しが必要ということですが、貯められている方たちのポイントの平均はどれくらいですか。そういうものは見えていますか。

**【事務局】**

例年、ポイントの上限を超えて活動している方が 2、3 名います。シニア元気づくり体操教室を登録したことで来年度は 20 名弱の方が上限を超えて活動する予定です。反対に単発で活動される方もおり、平均で見ると上限まで使われないことが多いです。

**【委員】**

サロンの参加者数は実人数、重複を除いた人数はどれくらい参加していますか。ざっくり 100 人前後くらいという大雑把な理解でよいですか。もっと多いですか。

**【委員】**

サロンの最少人数は 5 名です。多い団体だと名簿上 30 名近くいるところもあります。重複して行かれている方もいますので、100 人はいて、200 人いないくらいという感覚でしたが、明確な数はお伝えできません。

**【委員】**

70 歳、75 歳でも働いている人も多いため、参加できるレベルの人が 1,000 人、2,000 人くらいの中で、5 パーセントくらいが参加しているイメージですか。

**【事務局】**

4 月 1 日時点で 75 歳以上の方が 2,134 人います。そのうち、サロンに参加している方が 100 人強、体操教室に来られている方が実人数で 90 人近くいます。重複などもいづれ整理して、社会参加率を見ていけるとよいと思っています。

**【委員】**

介護予防対策としてフレイルと体操に非常に特化して重点的に実施していますが、問題点や、今後ほかに対策として考えていることはありますか。

**【事務局】**

教室を地域に移行し参加者が増えたことで、同じ徒歩 10 分圏内でも気軽に毎週歩ける方と調子が良い時だけ歩いて来られる人など参加者の傾向が年齢と相関して見えました。徒歩 10 分圏内で参加に困難感がある層へのアプローチが今後の課題です。

**【会長】**

それでは、活発な意見が出ましたので、議題の続きに移りたいと思います。

**【事務局】**

議題（1）「地域包括ケアシステム構築に向けた進捗状況について」について、会議資料に基づき P 4～P 6 まで説明した。

**【委員】**

他の市町村では、運動した後に買い物をして帰るといった活動があります。住民も買い物支援がないという困りごとが多い中、総合事業で料金が発生してもこういうサービスがあると良いという声を多く聞きます。将来的に取り入れる考えはありますか。

**【事務局】**

移動支援や買い物支援、地域資源が町内に少ないことは、課題と認識しています。今年度事業所アンケートを実施し、集計と分析を行いながら、新しい事業の計画について協議しています。今後ご意見をいただきたいので、ぜひご協力をお願いします。

**【委員】**

認知症サポーター養成講座が減って、ステップアップ講座が増えているということは、養成講座の参加者が少なくなっているのでしょうか。

以前、学生をターゲットに養成講座をやっていたことがあったと思うのですが、その計画は今どうなっていますか。

**【事務局】**

認知症サポーター養成講座については、受講者数としては累積で増えている状況です。今後は、受講済みの方を対象にステップアップ講座の受講者を増やし、より理解を深めていく目的です。小学生を対象に実施するかについては、未定です。

**【委員】**

認知症カフェの課題として、気軽に入ってくることができていない、という点が少し引っかけります。介護者の中には、「見られるのが嫌で行きにくい。」という方もいました。場所を考え直すのもよいと思います。例えば、ヨシヅヤやエアポートウォークのように、出かけたついでに寄れる場所も検討してはどうでしょうか。

**【委員】**

認知症カフェは一般の人が行くのが難しいと思います。専門職が連れていく、案内することが多いと思うのですが、実際に来ている方はどんな感じでしょうか。ヘルパーやケアマネジャーが連れてきた方以外で、家族や地域の人など、一般参加者の割合はどれぐらいでしょうか。

**【事務局】**

今年度、定期開催の回数を増やし、ケアマネジャーや、地域包括支援センターによる声かけを通じ、数名の当事者が参加するようになりました。全体の参加者はまだ少ないですが、体操教室での周知などにより、少しずつ増えています。建物の外からも入りやすい雰囲気づくりが必要だと感じました。

**【委員】**

実際の喫茶店などを開催場所としてご協力いただける場合もあると思います。そういった場所で開催することについて、豊山町では支障が出たり、何かハードルがあったりしますか。

**【事務局】**

時間帯や利用料などの折り合いがつかない、といった点があります。来年度、認知症の方に優しいお店の登録事業を始める予定ですので、そこをきっかけに、既存の喫茶店などが認知症カフェを実施することに繋げていけるとよいと考えています。

**【会長】**

ありがとうございました。他にご質問やご意見はございませんでしょうか。続きまして、次第3「その他」について、事務局からは何かございますか。

**【委員】**

もしもノートは記入した後はどうなりますか。

**【事務局】**

記入後は、各自で保管して頂き、保管場所等を家族や大切な人と共有しておくこととなっております。

**【会長】**

これをもちまして令和7年度第2回豊山町地域包括ケアシステム推進協議会を閉会とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

上記のとおり、令和8年2月26日（木）開催の豊山町地域包括ケアシステム推進協議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席委員2人が署名する。

令和8年3月12日

会 長 井上 愛子

署名委員 中野 弘恵

署名委員 西川 やよい